

人命尊重

10月6日~15日



昭和44年 10月号

発行所 東郷町役場
編集人

歩行者の交通事故絶滅

秋の全国交通安全運動

交通事故撲滅の悲願もむなし今年も九月末日現在、町内

二十八件の交通事故が発生し四十人の方が被害をうけています。

宮崎県における交通事故は、八月末までに三、六八五件も発生しており、一日に十五件発生していることとなります。これは、九州管内では鹿児島について二番目に多く発生しています。

死亡者は一〇一名(九州二位)負傷者が四、八四八名(九州一位)で約一時間に一名の割合で死傷していることとなります。

最近の交通事故の特徴は、速度違反、無免許、めいでのいわゆる交通三悪による事故が多いことと、バイクによる事故が増加していることです。

十月六日から十五日までの十日間、秋の全国交通安全運動が実施されます。

この運動は、人命尊重の見地から交通事故防止の徹底、とくに歩行者の交通事故の絶滅を目標として、すべての歩行者、運転者、運転者の雇主、その他道路交通に関係のある人に、交通安全思想の周知徹底を図り、正しい交通ルールの実践を習慣づけることを目的として行なわれます。

この運動期間中はとくに、次のことを重点的に行なうことにしています。

- (1) 正しい道路横断の励行と、横断歩道における歩行者保護の徹底
- (2) ことごと老人の交通安全の確保
- (3) 飲酒運転の追放
- (4) 無免許運転の追放
- (5) 自転車の正しい乗り方とルールの指導

被害者よりもより加害者までが、一生の重荷として苦しまなければならぬ交通事故は、容赦なく私たちの身辺にまでしび寄ってきています。今日の社会で、交

子どもを交通事故からまもろう



通安全」ほど無関心ですごされたい重大な問題はないくらいです。運転者だけの責任としてではなく、全町民こそぞって交通安全に心がけるようにつとめましょう。

東郷小学校では昭和四十年一月に交通安全宣言校を宣言し、毎月十五日を学校安全の日と定め、交通安全教育につとめています。特に交通安全運動期間中は、警察等の指導で、交通安全教室を開いたり、一学期一回自転車運転免許試験を行なっています。さらに集団登校によって交通事故から自らの生命を守っています。

交通安全は地域ぐるみ、町ぐるみで推進いたしましょう。

今年四月から宮崎県に「交通事故被害者生活つなぎ資金」が設けられ、貸付けをします。

この制度は、恐ろしい交通事故で一家の働き手を失い、たちまちその日の生活に困るような家庭に対して保険金(自動車損害賠償保障法による強制加入保険金)が支払われるまでの間、当面の生活をつなぐ資金を県が貸付け、被害者やその家族を救済しようとするものです。

くわしくは町役場総務課または左記に問い合わせてください。

宮崎県庁内
宮崎県交通安全事故相談所
電話 宮崎③四一一一番

点滴



よく「秋の陽はつるべおとし」といわれます。夜が長いのは冬至のころですが、夏の短夜のおとなでの、秋の夜はめつり長くなったことをしみじみ感じます。だいぶ更けたと思つて時計をみると、まだ宵の口だったりします。勉強に精が出、読書に身が入るのもこのころです。

▽「燈下親しむ候」まさに暑くもなく寒くもなし、さわやかな空気のもと、読書に専念できるのは、この季節が一番よいようです。しかし最近どうも本を読むと、すぐに疲れて目がかすんだり、頭や首すじが痛むという中年の人がふえてきました。まだ老眼ではないのだがと思つているようですが、意外と老眼である場合が多いようです。老眼鏡といういい方には抵抗を感じますが「読書用めがね」と割切つていちど専門医にみてもらつて眼鏡をきめてもらいましょう

▽さきごろ本町から東京の会社に就職しているY君から便りがあり、そのなかに毎号牧水の歌を掲載してほしいというご希望がありました。九月十七日牧水祭があり、牧水記念館を訪れる人も多くなつたことであり、今月号から掲載することにいたします。

日向の国むらたつ山のひと山に住む母恋し秋晴の日や
牧水

〇.....としておくと便利です.....〇

町民の声を行政に 町政懇談会開かる



昭和四十四年度の町政懇談会は七月二十八日の寺迫を皮切りに九月十二日の羽坂を最後にして、町内全区を訪問終了しました。

生活環境、産業問題など懇談

この懇談会の主旨は、町民の皆さんの声を直接お伺いして町政に反映させる目的で、昭和四十二年以来実施されているものです。今年度は特に町制施行の年でもあり、この機会に新しい町づくりの基礎のための意義をもつ長期の基礎的計画を策定することについて、町民の意見を充分取り入れ、より身ごかな計画をたてたい意図も含まれて行なわれたものです。

懇談会に先立ち、町長が昨年の明治百年にあたり、町として明治百年記念事業推進委員会を設置し、審議決定された次の五項目の事業実施状況について、報告いた

2 産業の問題

米づくりに対する国や県の対策と、町の産業の中心たる米づくりに対する基本方針、みかん、和牛生産物の値下り傾向に対処する町の方針として、いろいろ問題もあるが、農業構造改善事業の実施拡大、国営開拓パイロット事業及び林業構造改善事業の推進を軸としてみかん、養蚕、くり、畜産、椎茸等を基幹作物とするは補充作物として取りあげ、現状の打開策として、本町の土地、気候、地勢に応じた産業の開発を、積極的に推進したい。

3 人づくりの問題

将来の町発展の大計はなんといつても人づくりにあるので、将来全ての町民がしあわせな生活のできるような人づくりに努力するにあいさつしました。

懇談会では、各区の区長さんが議長となり、身近な生活環境の問題から産業問題まで幅広い懇談を行ないました。

町 税

問 町税の収納状況と納税組合の育成指導について

答 昭和四十三年度の税の総額は保険税を含めて四、三〇九万七千円で、収納率は四、二七〇万四千円、九九・一%の収納率を示しており良好な成績を示しています。

生活環境

問 昭和四十三年度の税の総額は保険税を含めて四、三〇九万七千円で、収納率は四、二七〇万四千円、九九・一%の収納率を示しており良好な成績を示しています。

道路の整備

問 町道の舗装について

答 この問題は昭和四十二年度から緊急度の高い地区より、わずかではあるが施行することになっています。

問 町道の整備について

答 交通量の激増によって、町道の維持管理は、相当の経費を要しているが、交通事故防止のため、毎年度ガードレール、交通標識の設置を行なっています。

用地の調達ほぼ完了

開拓パイロット事業計画すむ

行きつまる農業経営の打開策として、農村の自立経営農家育成を目的に、大規模国営開拓パイロット事業の調査地域の指定をうけて、昭和四十二年十一月から広範囲の調査を進め、現在まで約二か年にわたる長期の調査を終りました。地域内の部落から選出された推進委員の方々は、事業の推進母体として日夜いとわぬ用地交渉に御協力をいただき、本年三月から約六か月の間、ほぼ予定どおりの用地調達が完了しましたこと、報告をかねて感謝申し上げます。

区分	地区面積	状況		参加農家数
		自己開闢面積	買収面積	
寺迫	241.2ha	200.7ha	40.5ha	108名
日田尾	92.2	12.2	80.0	34
仲ノ原	55.4	15.8	39.6	46
小野田	73.7	15.0	58.7	23
之内	34.7	12.5	22.2	30
羽坂	16.7	5.9	10.8	13
計	513.9	262.1	251.8	共256

美々津地域の各市町においても同一步調で進捗しています。各団地ごとの確定した面積は左表のようになります。

①道路(幹線五・五メートル、支線四・五メートル、耕作道三メートル、園道二メートル)の中員のものを設置します

②灌水施設(将来の畑作は灌水施設のないものは経営不能となりますので、山陰地区は中央地点から揚水し大工野から出口に至る地区に配水いたします。羽坂、横瀬団地については小型の揚水機を設置し、寺迫、日田尾団地については日向市、都農町と同一の大型揚水場を設け、大規模な灌水施設を設置いたします。

③防除施設(この揚水場を利用して各団地に取水口を設置します。

④その他の共同施設(みかん団地については選果場、貯蔵庫、機械センターを、養蚕団地については稚蚕飼育所、蚕具の消毒水槽等を、飼料作物団地については、作目の転換等を考え、配置の計画をたてています。

人事異動

十月一日付で次の非常勤特別職員が発令されました。

- ◆教育委員 海野繁男 楠 光
- ◆公平委員 黒田 功
- ◆監査委員 藤崎今朝男

なお、辞職された教育委員 新名 義さん、石田教夫さん、監査委員 若藤 稔さんの功績に対し感謝申し上げます。

町の話題

牧水記念館に表札

9月17日、坪谷で行なわれた牧水祭で「牧水記念館」の表札が掲げられました。この表札の文字は川端康成さんの筆によるもので、歌碑祭のあと参列者の見守るなか小野町長が除幕いたしました。



みかんの収穫はじまる

寺迫地区でみかんの収穫がはじまり、9月中旬に青切りみかん約30トン大阪、東京方面へ出荷しました。引き続き10月から早生着色、11月から12月にかけて普通みかんの収穫があり、豊作が期待されます。



福祉

問 五〇才以上の婦人にできる適当な内職はあつせんできないか。

答 宮崎市に県の内職センターが設置されているので、状況を十分に検討のうえ適当な内職があればあつせんいたします。

保健衛生

問 山陰地区簡易水道及び塵芥処理施設について。

答 昭和四十四年度施工予定の山陰地区(小野田、鶴野内)簡易水道事業は、厚生省から補助の内示があり次第着工します。

塵芥処理施設については検討中ですが具体的にはまだ設置計画はありません。

問 町立東郷病院の運営状況及び維持存続の問題について。

答 町立病院の維持運営については、医師の確保と定着、施設の整備充実、医療体制の確立、住民の協調等を核として、個々の病院等にはみられぬ公共的役割をあわせて、企業性のあることを自覚考慮しつつ努力しています。

しかし、大学紛争、過疎問題等により医師の招へいが困難となり深刻な状態となっています。

若年層の他出による町民の老令化、交通事故等による外傷患者の増加と、町立病院の公的使命はますます重大となっています。維持運営では多少無理がありますが、町民の医療センターとしての機能を発揮するため、町民の積極的な協力をえて努力していきたいと思

このほか、防災、交通対策、教育文化、産業の振興などの問題について懇談いたしました。紙面の都合で次号に掲載することにします。ご了承ください。

米づくりに対する国や県の対策と、町の産業の中心たる米づくりに対する基本方針、みかん、和牛生産物の値下り傾向に対処する町の方針として、いろいろ問題もあるが、農業構造改善事業の実施拡大、国営開拓パイロット事業及び林業構造改善事業の推進を軸としてみかん、養蚕、くり、畜産、椎茸等を基幹作物とするは補充作物として取りあげ、現状の打開策として、本町の土地、気候、地勢に応じた産業の開発を、積極的に推進したい。

問 町道の舗装について

答 この問題は昭和四十二年度から緊急度の高い地区より、わずかではあるが施行することになっています。

問 町道の整備について

答 交通量の激増によって、町道の維持管理は、相当の経費を要しているが、交通事故防止のため、毎年度ガードレール、交通標識の設置を行なっています。

問 町税の収納状況と納税組合の育成指導について

答 昭和四十三年度の税の総額は保険税を含めて四、三〇九万七千円で、収納率は四、二七〇万四千円、九九・一%の収納率を示しており良好な成績を示しています。



公図(字図面)の
閲覧は登記所で

八月の町報でもお知らせしました
が、字図面をフィルムベースに

作成替えを行なうため九月十日より
十二月十日までの三か月間閲覧
ができなくなりまし。この期間
の閲覧は登記所でできますのでお
知らせいたします。

明年三月に待
望の電話開通

農村集団自動電話の施設工事は
九月から実施測量を開始、引き続
き工事をはじめの予定ですので、
昭和四十五年二月頃に完成、遅く
とも三月から通話できる見込みで

見なおそう観光地

町内の観光地紹介

いよいよ本格的なスポーツの季
節となり、各地の観光地は賑わい
をましています。町内にもいくつ
かの観光地があり近郷のハイカー
や町内の愛好者に喜ばれていま
すが、まだまだ充分にその役目を
果していません。そこで町内は勿
論広く近郷の愛好者のためにこ
にいくつかの観光地をご紹介します
と思います。

冠岳(福瀬) 官崎交通のバス
を利用、上中野原で下車、耳川を
舟で渡り約四十分木立の中を登る
と良く手入れされた杉造林地に出
ます。ここは昭和四十年三月の火
災で全焼したところですが今はも
うそのおもかげはありません。こ
から岩肌を這い上ると五分ぐら
いで頂上に達します。眼下に山陰
の街並がマッチ箱を並べたよう
に連なり、遠く八重原橋を望み、東
の方に目を転ずると細島臨海工業
地帯を望むことができます。登山

路は単調で子供から高台者まで登
ることが出来ます。切り立った絶
壁と手軽に登れるという魅力から
最近この山に登る人がふえてきま
した。途中には、商工会青年部が
立てた道標があり便利です。

観音滝(小野田) 小野田停留所
下車、徒歩約一時間三十分、自動
車二十分、大谷部落を通りすきて
行くこと山奥らしい峡谷を左手に見
ることが出来ます。ここは「めん
(牝)淵」「おん(牡)淵」とい
う二つの淵があつて「めん淵」に
は昔大蛇が住んでいたという伝説
があり、深く碧水をたたえていま
す。そこを通るとやがて永久橋に
さしかかります。そこから川を右
手にしながら行くと右は深い峡谷
左は道路拡張で切立つ岩壁になり
ます。しばらく行くと道は急に折
れるように曲ります。すると眼前
に観音滝が望まれる。高さ三十五
米から落下する滝は荘厳そのもの
でしばらくの間世間の騒音を忘れ
させてくれます。五分ほどで観音

す。
電話設置の申込みについて、最
近になって取り消し、追加の申し
込みがあり、電話局にその交渉を
行なったところですが、取り消し
についてはやむを得ないが追加は
一個も認められないとの回答でし
た。したがって、今後追加申込み
の方法でしか解決できないことに
なりますが、これは一六〇個以上
の申請が必要で、順調に認められ
たとしても二年は遅れるようであ
す。

像の祀つてあるのが見えます。山
奥からの水は冷たくきれいです。
ここも日向市からの交通条件が良
くなったためシーズンになると色
とりどりのアノラック姿の若い人
達があちこちからやって来るよう
になりました。又道路の拡張によ
り普通自動車が発点まで通れるよ
うになったので、これからはさら
す発展する観光地です。



なお、予約金として五千円の積
立てを組合単位でしていただいで
います。預金利息は各人に支払
いますので念のため申し添えま
す。

行政相談においで下さい

「これは困った、役所でなんと
かして欲しい」というとき、親身
になってお世話するのが、行政相
談委員と行政監察局の役目です。
行政管理局では、この行政相談
制度を広く国民の皆さんに知っ
ていただくため、今年も十月十二日
から十八日までの一週間を「行政
相談週間」と定め啓蒙につとめる
ことになりました。

行政相談については、常に相談
委員がその仕事に当たっています
が、週中は特に午前八時から午
後五時まで行政相談委員塩川儀
氏宅(小野田)で行政相談所を開
きます。

国や県などの行政で、「こうし
てもらいたい」、「これは困る」
「どうも納得がいかない」、など
不平、不満、不審、希望等があれ
ばどんなことでも結構ですから、
遠慮なく気軽に相談においで下さ
い。仕事の忙しい方は手紙でも
結構です。相談は無料で秘密は厳
守いたします。

人口	44年10月1日現在
男	3,614人
女	3,960人
総数	7,574人
世帯数	1,795世帯

香典返し

鶴野内故小長井ウメ殿の死去
に際し、ご遺族中田まさ殿より
香典返しがありました。ここに
謹んで故人の冥福をお祈りしま
すとともに社会福祉に役立たせ
ていただきます。

東郷町社会福祉協議会

戸籍だより

八月届出

出生 おめでとう

赤ちゃんの名	父の名	部落
菊池進一	哲夫	越表
谷岡真一	勇美	〃
森西初代	実	福瀬
中野浩二	勝	羽坂

結婚 おめでとう

氏名	名	部落
山本千幾	幾	日向市
寺原瑞美	美	羽坂
福永勝	勝	門川町
平塚真澄	澄	羽坂

死亡 ご冥福を祈ります

氏名	年令	部落
黒木久次郎	二七	田野
外田正太郎	六〇	追野内
荒砂ソノエ	五九	仲深
木ケサノ	五四	寺迫
高塩ケ	六三	鶴野内
藤月清	四〇	福瀬

出生 おめでとう

赤ちゃんの名	父の名	部落
菊池進一	哲夫	越表
谷岡真一	勇美	〃
森西初代	実	福瀬
中野浩二	勝	羽坂